

ひまほ 火守りトピックス

No.121 平成 29 年 8 月 25 日 (金) 掲載



平成 29 年度全国統一防火標語

『火の用心 ことばを形に 習慣に』



第 46 回 全国消防救助技術大会

6 年越しの開催 宮城県仙台市

ロープ応用登はんの部 入賞

8 月 23 日、宮城県宮城郡利府町『宮城県総合運動公園グランディ・21』

この大会は平成 23 年 3 月 11 日、東日本大震災により 6 年越しの開催となりました。この会場は震災当時、全国の緊急消防援助隊の集結、活動拠点として使用され、その地で全国消防救助技術大会が行われることは重要な意味があります。

大会は「陸上の部」と「水上の部」それぞれ 8 訓練種目あり、全国各地から予選を勝ち抜いた精鋭 1,043 名が救助技術を披露しました。

遠野市消防本部から「ロープ応用登はん」に山口裕毅消防副士長と中居拓麻消防副士長が岩手県代表として出場し、結果は 12.2 秒、50 チーム中 24 位でした。応援して頂いた多くの市民の皆様へ感謝申し上げます。



山口裕毅隊員(左) 小村田消防長 中居拓麻隊員(右)



2 人 1 組で高さ 15m 先の頂点を目指し、一気に駆け上がるロープ応用登はんの様子 (遠野 左コース)